

2025年度自転車競技普及事業 事業の実施内容及び成果に関する報告書

1. 事業名

地域連携型サイクリングクラブ運営事業
「Cycle Smile Japan プロジェクト」

2. 事業の実施経過

(1) 事務手続き関係

2月19日 申請書提出

3月31日 決定通知書受理

4月1日 事業の決定

5月23日 概算助成金の受領（1,400,000円）

4月1日～2月22日 事業の実施

3月16日 事業完了報告書提出

(2) 事務関係

3. 事業実施内容及び成果

(1) 実施内容

■Cycle Smile IWAKI

実施報告書：別添1 / 参加者名簿：別添2

■Cycle Smile HAND

実施報告書：別添3 / 参加者名簿：別添4

■パラサイクリング体験会

実施報告書：別添5 / 参加者名簿：別添6

(2) 成果

■Cycle Smile いわき サイクリングクラブ

①自転車競技普及のための競輪場活用

本場開催日程や競輪選手のトレーニング時間を考慮し、2025年7月から2026年2月にかけて計5回開催した（計6回予定のうち1回は雨天中止）。週帳400mのいわき平競輪場は初心者にも奏功しやすく、自転車競技普及の場として有効に活用できた。クラブ開催時には各種自転車でのバンク走行やトラックバイクのレンタルを実施し、地域の自転車愛好者にトラック競技

の魅力を伝える機会となった。

②初心者でも参加しやすい機会の提供

安全な競技場走路であることの周知に加え、自転車やヘルメット のレンタル、初心者に対応できる指導員の配置を行い、初心者でも安心して参加できる環境を整えた。

③若年層および障がい者のスポーツ参加促進

家族での参加や子ども・若年層の継続参加が見られ、スポーツ活動機会の創出につながった。また、競技場という安全な環境で実施することで、健常者と障がい者が同じ場でスポーツを楽しむことを示し、年齢や障がいの有無に関わらず参加できるサイクルスポーツの魅力を発信することができた。

■Cycle Smile HAND サイクリングクラブ

①ハンドサイクル競技の体験・トレーニング

下肢に障害のある方も参加できるハンドサイクルの体験・トレーニング機会として「Cycle Smile HAND サイクリングクラブ」を立ち上げ、2024年4月から2025年2月までに計7回開催した(計10回予定だったが、参加者の障害特性上夏の時期の開催が不可となった)。ハンドサイクル競技経験者および現役競輪選手が指導員となり、初心者から競技志向の参加者まで幅広く参加し、乗車方法や安全な走行方法の習得と中・長距離の走行トレーニングに取り組んだ。

②ハンドサイクル認知度の向上

土浦市周辺を拠点として継続的に開催したことで、一般サイクリストとの交流が生まれ、ハンドサイクルの認知度向上につながった。

③障害者と健常者が共に親しめる環境づくり

ハンドサイクル競技経験者と元競輪選手による指導体制のもと、障害の有無に関わらず自転車競技に親しめる環境を整えることができた。また、競輪選手が指導に関わることで、参加者が競輪や自転車競技にも関心を持つきっかけとなり、自転車競技全体の普及につながった。

■パラサイクリング体験会

①次世代アスリートの発掘

パラサイクリング競技に関心のある障がいのある参加者を対象に、ベロドロームでの走行練習、ワットバイクテスト、競技やクラス分けの講習を実施し、パラサイクリング競技への理解を深める機会を提供した。これにより、将来のパ

ラサイクリングアスリートの発掘につながった。

②障がいのある子どもへのスポーツ機会の提供

身体障がいのある子どもたちに対し、パラサイクリングを通じた運動機会を提供することで、スポーツに親しむきっかけづくりを行うことができた。

4. 業界等において今後予想される効果

近年、スポーツバイク体験会や競輪場走行体験会などの普及活動は全国各地で実施されており、サイクルスポーツの認知度は向上している。一方で、競技者の発掘・育成という観点では、競技に興味を持った後に基礎を学び、継続的にトレーニングできる環境が地域によって十分に整っていないという課題がある。特にトラック競技では、専用機材や競技場の確保、初心者を指導できる指導者の不足などにより、競技への入口が限られている状況にある。

本事業で実施したような、機材レンタルを含めた競輪場での定期的なクラブ活動は、初心者が基礎から段階的に競技に親しむことができる環境として有効であり、若年層を含めた競技者育成の入口として各地域でも展開可能なモデルである。また、パラサイクリング体験会を通じて障がいのある参加者に競技を知る機会を提供することで、次世代アスリートの発掘や競技参加の裾野拡大につながることを期待される。

さらに、ハンドサイクルなどパラサイクリング種目においては、専用機材や指導者が不足していることが課題であるが、本事業では競技経験者や競輪選手が指導に関わることで、障害特性に応じた体験・トレーニング機会を提供することができた。特に元競輪選手がハンドサイクルの指導に参加するなど、新たな人材の参画が生まれたことは、今後の競技普及や指導体制の拡充に向けた重要な成果である。

今後、地域に根差した継続的な活動と統一的な指導体制を整備することで、自転車競技およびパラサイクリングに親しむ愛好者の拡大に加え、競技志向の参加者が段階的に競技レベルを高める育成環境の構築が期待される。これにより、将来的に全日本選手権やナショナルチームを目指す選手の発掘・育成にもつながることが見込まれる。

地域連携型サイクリングクラブ運営事業「Cycle Smile Japanプロジェクト」実施報告書

事業名	第1回 Cycle Smileいわきサイクリングクラブ			
実施期間	令和7年4月13日(日)13:00~14:30			
実施場所	いわき平競輪場			
参加者数	20名			
スタッフ数	指導員数:4名、JPCF:3名			
日程	日付	内容	日付	内容
	4月13日	第1回 Cycle Smileいわきサイクリングクラブ		
実施内容	①ロードバイクでのバンク走行体験 ②トラックバイクでのバンク走行体験			
所感	開始時間から雨模様となり、当初の予定より1時間時間を短縮し、1時間30分のプログラムとなった。はじめての参加者もあり、指導員が初心者に乗り方から指導し、バンク内の中腹まで走れるようにサポート。その後は各自のペースで初めての競輪場走行を楽しんでいた。最高気温が12℃と4月にしては肌寒い陽気であったため、体調面の安全を優先し、早めの終了となった。雨天予報のためかキャンセルが多く、31名の参加申し込みに対し、20名の参加であった。			
事業実施の様子 (写真)				
	集合写真		集団走行の練習	
				
	メカニックがいるので初心者でも安心して参加できる		子どもはバンクの退避路で安全に走行できる	

地域連携型サイクリングクラブ運営事業「Cycle Smile Japanプロジェクト」実施報告書

事業名	第2回 Cycle Smileいわきサイクリングクラブ			
実施期間	令和7年5月25日(日)13:00~14:30			
実施場所	いわき平競輪場			
参加者数	25名			
スタッフ数	指導員数:4名、JPCF:3名			
日程	日付	内容	日付	内容
	5月25日	第2回 Cycle Smileいわきサイクリングクラブ		
実施内容	①トラックバイクでのバンク走行 ②ロードバイクでのバンク走行 ③フライング200mタイムトライアル ④こどもタイムトライアル			
所感	今開催も子どもから大人、パラアスリートや女性の参加など幅広い参加があり、多様に自転車競技を楽しめるサイクルスマイルらしい開催日となった。初心者には指導員がつき、ペダルの脱着からバンク走行のやり方、スピードを出せるようになるまでのサポートなど細やかな指導により落車等の事故のリスクを最小限に抑えている。リピーターからは更なるスキルの向上がしたいとのリクエストもあり、今後は熟練者向けやジュニア期向けなどレベルに合わせたプログラムを組み込めるよう検討したい。			
事業実施の様子 (写真)				
	集合写真		初心者にペダル脱着を指導	
				
	集団でのウォーミングアップ		女子選手のリーピート参加も多い	

地域連携型サイクリングクラブ運営事業「Cycle Smile Japanプロジェクト」実施報告書

事業名	第3回 Cycle Smileいわきサイクリングクラブ			
実施期間	令和7年7月20日(日)13:00~14:30			
実施場所	いわき平競輪場			
参加者数	14名			
スタッフ数	指導員数:5名、JPCF:2名			
日程	日付	内容	日付	内容
	7月20日	第3回 Cycle Smileいわきサイクリングクラブ		
実施内容	①トラックバイクでのバンク走行 ②ロードバイクでのバンク走行 ③フライング200mタイムトライアル ④こどもタイムトライアル			
所感	気温35℃を超える酷暑での開催となった。テント設営や水分補給などの暑熱対策は実施したが、参加者の体調を考慮し、予定より30分短縮して終了した。今回は視覚障がいの方をはじめ、パラスリート2名の参加や子どもの参加もあり、それぞれのレベルに指導員がつき丁寧な指導を実施できた。リピート参加者も多く、バンク走行に慣れてきたこともあり、ウォーミングアップからタイム計測までの流れができており、スムーズな進行ができるようになった。子どもたちのタイムトライアルはもう少しバリエーションを作り、レース形式で出来るよう検討したい。			
事業実施の様子 (写真)				
	集合写真		フライング200mタイムトライアル	
				
	子どもタイムトライアルのスタート		視覚障がいの方のタンデム走行	

地域連携型サイクリングクラブ運営事業「Cycle Smile Japanプロジェクト」実施報告書

事業名	第4回 Cycle Smileいわきサイクリングクラブ			
実施期間	令和7年9月7日(日)13:00~14:30			
実施場所	いわき平競輪場			
参加者数	29名			
スタッフ数	指導員数:5名、JPCF:2名			
日程	日付	内容	日付	内容
	9月7日	第4回 Cycle Smileいわきサイクリングクラブ		
実施内容	①トラックバイクでのバンク走行 ②ロードバイクでのバンク走行 ③フライング200mタイムトライアル ④こどもタイムトライアル ⑤ストレッチ、コンディショニング講座			
所感	今回開催は比較的小さい子どもの参加が多く(5名以上)、初参加やビギナーの参加が半数を占めた。パラスリートを含む障がいをもった方の参加もあり、それぞれのペースでバンク走行を楽しんでいる様子であった。9月とはいえ30℃を超える暑さの中での開催となった。暑熱対策としてテントの設営、塩分タブレットやスポーツドリンクおよび氷の完備、15分ごとの休憩、参加者への声掛けなどをおこなった。フリー走行も時間を短縮し、全体の終了時間を早めたが、子どもたちや初めての参加者も積極的にタイムトライアルに参加するなどにぎやかな雰囲気を作ることができた。また、地元のトレーナーが来場し、参加者にストレッチや身体のケアを指導してくれる機会もでき、健康に楽しくスポーツを継続するための取り組みにもつなげることができた。今後も自転車愛好者だけでなく、家族やスポーツバイク初心者の参加を促していきたい。			
事業実施の様子 (写真)				
	集合写真		親子ではじめて自転車に乗る参加者	
				
	パラスリートにストレッチ指導するトレーナー		子どもだけで実施するタイムトライアルレース	

地域連携型サイクリングクラブ運営事業「Cycle Smile Japanプロジェクト」実施報告書

事業名	第5回 Cycle Smileいわきサイクリングクラブ			
実施期間	令和7年12月14日(日)13:00~14:30			
実施場所	いわき平競輪場			
参加者数	35名(申込時)			
スタッフ数	雨天のため中止			
日程	日付	内容	日付	内容
		雨天のため中止		
実施内容	雨天のため中止			
所感				
事業実施の様子 (写真)				

地域連携型サイクリングクラブ運営事業「Cycle Smile Japanプロジェクト」実施報告書

事業名	第6回 Cycle Smileいわきサイクリングクラブ			
実施期間	令和8年2月8日(日)13:00~14:30			
実施場所	いわき平競輪場			
参加者数	26名			
スタッフ数	指導員数:5名、JPCF:2名			
日程	日付	内容	日付	内容
	2月8日	第6回 Cycle Smileいわきサイクリングクラブ		
実施内容	①トラックバイクでのバンク走行 ②ロードバイクでのバンク走行 ③スタンディングスタート200m/400mタイムトライアル ④こどもタイムトライアル			
所感	今年度最後の開催である第6回は、早朝の降雪による低気温の中での開催となった。それでもキャンセルは6名に留まり、県内外から26名と多くの参加者が参加した。今開催も三分の一程度の参加者が初心者であり、指導員レクチャーのもとそれぞれのペースで初めてのバンク走行を楽しむ姿が見られた。また、2名のパラアスリートが参加し、何本もタイムトライアルに挑戦する姿に、極寒のなか参加者同士で声援を送りあう場面も見られた。来年度以降の開催を望む声も多数いただき、今後も地域に根差した運営ができるサイクリングクラブとして事業継続を目指したい。			
事業実施の様子 (写真)				
	集合写真		このイベントを機にパラサイクリストになった小釜選手	
				
	真剣に練習する中級者		リピート参加者が小学生に乗り方を教える姿も見られた	

地域連携型サイクリングクラブ運営事業「Cycle Smile Japanプロジェクト」実施報告書

事業名	第1回 パラサイクリング体験会			
実施期間	令和7年11月29日(土)～11月30日(日)			
実施場所	日本サイクルスポーツセンター／伊豆ベロドローム			
参加者数	14名			
スタッフ数	15名			
日程	日付	内容	日付	内容
	11月29日	競技体験(トラック・ロード)、ワットバイク基礎能力測定		
	11月30日	競技体験(トラック・ロード)、ワットバイク基礎能力測定		
実施内容	①Wattbike測定(基礎能力測定) ②ロードバイク、トライシクル走行体験 ③トラックバイク走行体験 ④パラサイクリング競技講話、クラス分け講話			
所感	パラサイクリング競技用自転車の乗車体験会を実施した。開催時期が低気温になりやすく、また天候に左右されないよう、全天候型の競技場を有する伊豆市での開催となった。2日間にわたりそれぞれ10名を超える参加があり、半数以上の参加者がパラサイクリング競技は初体験であった。ロードバイクだけでなく、トライシクルやタンDEM自転車などのパラサイクリング競技用自転車や、普段乗ることのないトラックバイクでの走行体験を通し、多くの参加者が競技に興味を持ってくれたようであった。初心者が多いことから多くのスタッフ配置が必要となったが、参加者のレベルに合わせて丁寧な指導ができたことにより、安全面への配慮も実現できた。今後もパラサイクリングにチャレンジしたい参加者がいれば走行体験の機会を継続して提供できるよう計画したい。			
事業実施の様子 (写真)				
	トラック走行体験		29日参加者集合写真	
				
	初心者の体験のようす		30日参加者集合写真	